（別表2）

事業所名 グループホーム　ふくろう

作成日：　令和　3年　4月　2日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ご利用者様があまり生き生きとして生活していない。または、要望にあまり応えられていないと思っている職員がいる。	ご利用者様が生き生きと生活するために、要望に応えられる介護をチームとして目指す。	・なぜ生き生きと生活できていないかを話し合う。 ・要望に応えられていないのはどのような時か話し合う。 ・ご利用者様の状況を見直し、どのような生活が望ましいかを話し合い、共通の認識を持つ。	6ヶ月
2		職員内での研修が思うように行えていない。また、外部研修にも積極的に参加出来ていない。	外部研修には出来るだけ参加し、職場内でも小規模の勉強会を増やし、スキルアップを目指す。	・毎月のカンファレンス前に勉強会を行う。 ・年1回以上は講師を招いての職場内研修を行う。 ・積極的に外部研修に参加し、学びを職員全員で共有できるように勉強会を行う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。